

マンガ違法サイト摘発のため日米出版社が連携

2010年6月25日

デジタルコミック協議会

デジタルコミック産業の健全な発展と著作権保護のために設立されたデジタルコミック協議会（参加出版社名後述）は、海外でのマンガ出版を脅かし、蔓延と増加を続けるインターネットでの著作権侵害問題に対処するため、株式会社スクウェア・エニックス、Viz Media、Tokyopop、Vertical Inc.、Yen Press、及びタトル・モリ エイジェンシーと連携し、協力して取り組むことになったことを発表いたします。

欧米では、海賊版の一形態として「Scanlation（スキャンレーション）」が既に広まっていますが、これは著作権者や出版社の承諾を得ずにマンガをスキャンし、吹き出しなどのテキストを翻訳するという侵害行為です。スキャンレーションを集積したサイト（スキャンレーション・アグリゲーター）では何千点もの海賊版コンテンツが掲出されており、著作権を侵害し、作品の正規販売に対して重大な損害を及ぼしております。スキャンレーション・アグリゲーターは、これらの海賊版を使って広告費や会員費等で不当な収入を得ております。また、最近では、アプリケーションをダウンロードすれば、海賊版がiPhone等のスマート・フォンでも閲覧できる状態になっています。

我々は、まずアメリカにおいて、警告を発してもマンガ作品の著作権侵害を停止しない違法サイトに対し法的措置を講じていく所存です。違法サイトが活動を停止しない場合、差し止め請求、損害賠償請求だけでなく、刑事告訴をも行う可能性があります。

現在法的措置を検討している違法サイトは少なくとも30以上存在し、順次対応していく予定です。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

デジタルコミック協議会事務局

E-mail: info @ digital-comic.jp

※デジタルコミック協議会 (<http://www.digital-comic.jp/>) の参加出版社は以下の通りです。

【茜新社、秋田書店、アスキー・メディアワークス、イーストプレス、一迅社、エンターブレイン、オークラ出版、宙出版、学習研究社、笠倉出版社、角川書店、幻冬舎コミックス、講談社、実業之日本社、集英社、ジュネット、小学館、小学館集英社プロダクション、祥伝社、少年画報社、新書館、新潮社、竹書房、辰巳出版、徳間書店、日本文芸社、白泉社、富士見書房、扶桑社、双葉社、フランス書院、ぶんか社、芳文社、マガジンハウス、メディアファクトリー、リイド社、リブレ出版】